

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	精神看護学概論			担当講師	専任教員・外部講師
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第一看護 学科	1 年	A・B	1 (30)	講義	令和6年前期
科目目標 1) 精神看護の特徴と対象について理解する 2) 現代社会における特徴と心の病の関係、社会の意識について理解する 3) 精神看護における倫理と人権擁護について理解する 4) 心の構造・機能・発達、心の健康について理解する 5) 精神看護の基本となる理論について理解する 6) 精神保健福祉の変遷を歴史的・社会的・医療的な視点から理解する					
授業概要 こころ、精神の働きや現代社会の特徴と精神的問題について理解する。また、精神の健全な発達と健康を維持・増進するための看護の基本となる理論を学習する。					
卒業時到達目標との関連 DP- ①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨・⑩・⑪・⑫					
回数	時間 数	授 業 内 容	回数	時間 数	授 業 内 容
1	2	1 こころ・心・精神の健康 1) こころと精神 2) 脳の構造とこころ 3) こころの働き 4) こころの健康とは	10	2	7 精神科後における倫理と人権 8 精神看護の特徴と対象
2	2	2 現代社会と精神的問題 1) 現代社会の特徴 2) 精神保健的諸問題 3) こころの健康づくり	11	2	心の健康 健康と正常、精神障害
3	2	3 精神看護の基本となる理論 1) ストレスと適応	12	2	心の発達、臨界期 エリクソンの発達課題
4	2	4 精神看護の基本となる理論 2) 対人関係モデル-1	13	2	食べること、かむこと 好き嫌い、個食
5	2	4 精神看護の基本となる理論 3) 対人関係モデル-2	14	2	こころの栄養、愛情、児童虐待
6	2	5 精神看護の基本となる理論 4) ストレngths、リカバリー、 エンパワメント	15	2	心の適応、ストレス 防衛機制とコーピング
7	2	6 精神保健福祉医療 1) 精神医療・看護の歴史と法律の変遷	【テキスト・参考書】 ◆テキスト 精神看護の基礎（医学書院） 精神看護の展開（医学書院）		
8	2	6 精神保健福祉医療 2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法） 3) 社会資源の活用			
9	2	7 精神科後における倫理と人権	【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ レポート ■ ワークへの参加度		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員による授業

科目	対人関係技術			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第一看護学科	1 年	A・B	1 (15)	講義	令和6年度後期
科目目標 1) 精神看護における患者－看護者関係について理解できる 2) 対人関係構築のための治療的コミュニケーション技術について理解できる 3) 他者理解のため自己理解の必要性が理解できる 4) プロセスレコードの目的や分析を通し、自己洞察・自己理解の意義を理解する					
授業概要 治療的コミュニケーション技術や自己洞察・自己理解の意義を理解し、実践できる基礎を学習する。					
卒業時到達目標との関連 DP- 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1. コミュニケーション技法 1) 精神看護学における対象（心を病む人）の特徴とケアの原則 2) コミュニケーション技法			
2	2	2. 治療的コミュニケーション技術 1) 治療的関わりの基本 2) 受容、傾聴、共感、自己一致 3) プロッキング、転移、逆転移			
3	2	4) 自己理解、自己受容、自己開示 自己洞察の意義 振り返りの重要性			
4	2	3. プロセスレコードと再構成 1) プロセスレコードの目的と方法 2) プロセスレコードの書き方			
5	2	3. プロセスレコードと再構成 3) 再構成の実際 4) 場面、評価、振り返り（練習）	【テキスト・参考書】 <テキスト> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院		
6	2	3. プロセスレコードと再構成 5) 評価と振り返り 他者のプロセスレコードから学ぶ			
7	2	4. 対人関係において対処のむずかしい場面 感情労働 感情ルール			
8	1	患者－看護師関係の終結 まとめ	【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ 提出物		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	精神援助論Ⅰ			担当講師	専任教員・外部講師	
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第一看護学科	2 年	A・B	1 (30)	講義	令和6年度前期	
科目目標						
1) 危機の特徴、 危機の種類について理解する 2) 危機モデルと危機看護介入について理解する 3) 発達危機について意見交換しながら理解する 4) 現代のさまざまな場における危機と看護について理解する 5) リエゾン精神看護について理解する 6) 精神に障害のある人の病態と治療を理解する						
授業概要						
危機的状況にある人、精神に障害のある人の病態と治療を理解し、看護に必要な基礎的知識を習得する。						
卒業時到達目標との関連						
DP- 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12						
回数	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 危機理論		10	2	5 依存症と看護 6 リエゾン精神看護
2	2	危機理論		11	2	7 疾患を持つ人の生活と看護
3	2	2 危機モデル		12	2	精神疾患の理解 ・精神障害の診断 ・主な精神症状 ・精神疾患の検査と治療
4	2	3 危機演習		13	2	
5	2	3 危機演習		14	2	
6	2	3 危機演習		15	2	
7	2	4 場における危機 1) 家族・家庭		【テキスト・参考書】 ＜テキスト＞ ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院		
8	2	4 場における危機 2) 学校				
9	2	4 場における危機 3) 職場・医療現場		【成績評価の方法】 ■ 筆記試験		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業科目

科目	精神援助論Ⅱ			担当講師	専任教員・外部講師
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第一看護学科	2 年	A・B	1 (30)	講義	令和6年度後期
科目目標 1) 精神に障害のある人とその看護の特徴について理解する。 2) 精神に障害のある人に特有な症状や行動についての看護を理解する。 3) 精神に障害のある人の日常生活の障害と看護について理解する。 4) 精神に障害のある人の治療に伴う看護について理解する。 5) 精神に障害のある人の暮らしと場の拡大について理解できる。 6) 精神に障害のある人の対象理解と看護を導き出す過程が理解できる。					
授業概要 精神に障害のある人の病態と治療、病状の回復や自立にむけて援助を学習する。また、人権擁護の理念に基づく看護を理解する。					
卒業時到達目標との関連 DP- 1・2・3・4・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1. 精神に障害のある人の理解と看護 1) 精神に障害のある人の特徴 2) 精神科看護の特徴	10	2	1. 精神疾患を持つ人の生活と看護 1) 精神症状と看護 2) 精神疾患患者の看護
2	2	3) 精神に障害のある人のアセスメント 4) 患者と家族の支援 (1) 病気が家族にもたらす影響 (2) 家族への支援	11	2	
3	2	2. 主な治療を受ける患者の看護 1) 薬物療法と看護 (1) 精神科における薬物療法 (2) 薬物療法を受ける患者の看護	12	2	
4	2	2) リハビリテーション療法 3) 生活技能訓練 (SST) 4) 電気けいれん療法	13	2	2. 精神科病棟における管理的問題
5	2	3. 精神に障害のある人の理解と看護の方向性 (看護過程) 1) 事例の全体像把握	14	2	3. 精神科病棟での入院患者の処遇と権利擁護 1) 行動制限と看護 2) 代理行為
6	2	2) 情報の整理とアセスメント 常在条件・病理的状态	15	2	1. 安全な療養環境の提供 1) 包括的暴力防止プログラム
7	2	3) 情報の整理とアセスメント 常在条件・病理的状态	【テキスト・参考書】 ・精神看護の基礎 (医学書院) ・精神看護の展開 (医学書院)		
8	2	4) 精神に障害のある人の看護計画 看護の方向性			
9	2	5) 精神に障害のある人の 具体的な援助計画とまとめ	【成績評価の方法】 ■筆記試験 ■看護過程		